

第2章 再チャレンジ事例調査結果

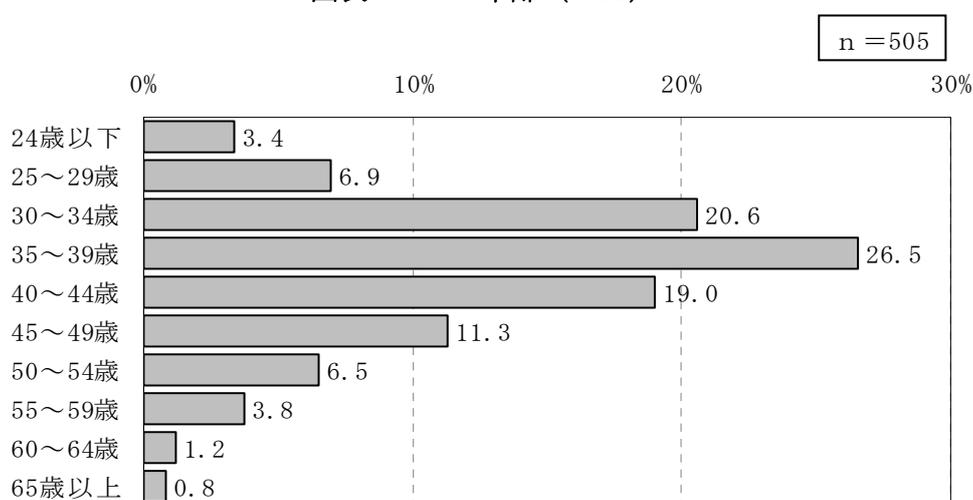
2.1 基本集計結果

2.1.1 回答者の属性

① 年齢

再チャレンジ支援を受けた女性の年齢構成は、「35～39歳」が最も多く、次いで「30～34歳」、「40～44歳」の順が続いている。

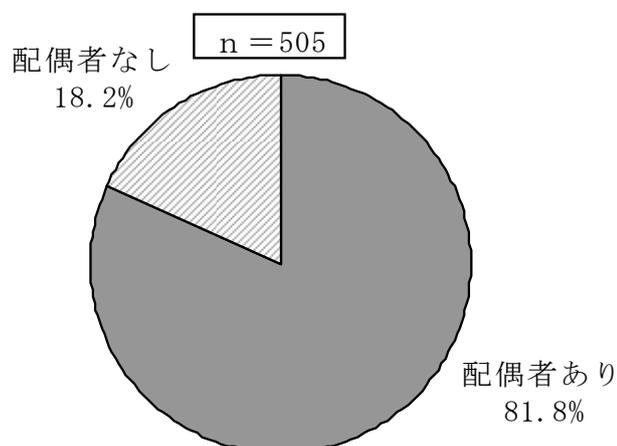
図表 2-1-1 年齢 (SA)



② 配偶者の有無

再チャレンジ支援を受けた女性について、「配偶者あり」が8割を超えている。

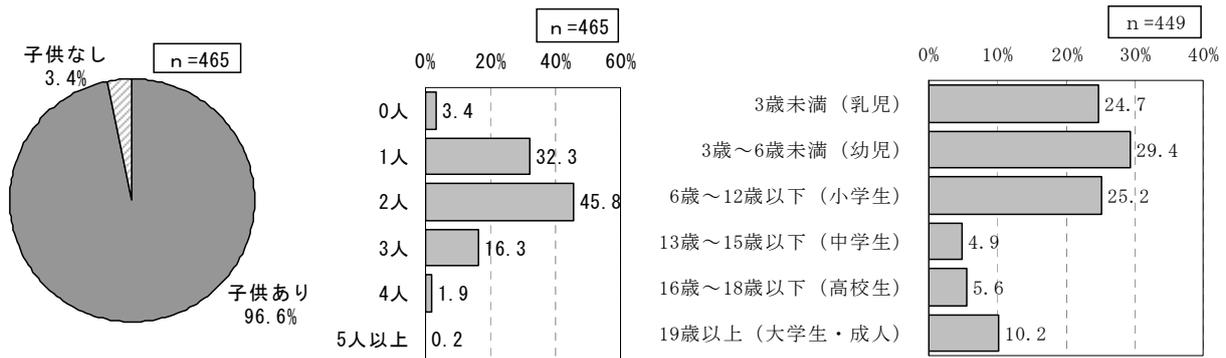
図表 2-1-2 配偶者の有無 (SA)



③ 子どもの有無、人数、末子年齢

子どもの有無については、子どもありの比率が9割を超えている。子どもの人数については、「2人」が最も多く、次いで「1人」、「3人」の順が続いている。末子年齢については、「3歳～6歳未満」が最も多く、次いで「6歳～12歳以下」、「3歳未満」の順が続いている。

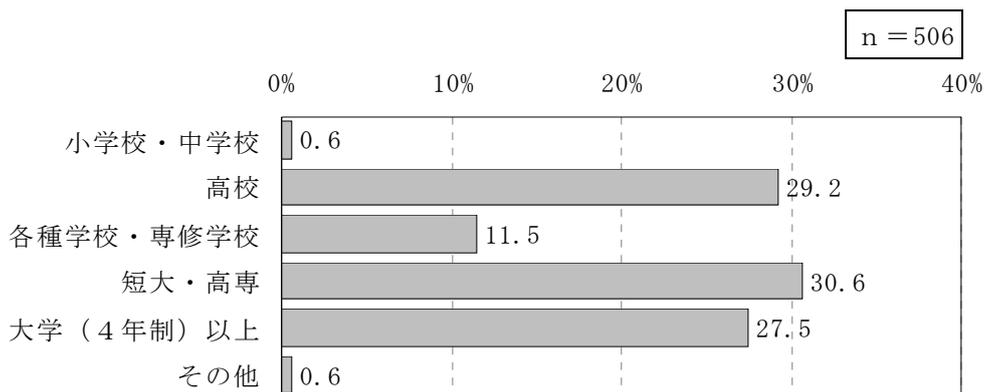
図表 2-1-3 子どもの有無、人数、末子年齢 (SA)



④ 最終学歴

再チャレンジ支援を受けた女性が、最後に卒業した学校については、「短大・高専」が最も多く、次いで「高校」、「大学（4年制）以上」の順が続いている。

図表 2-1-4 最終学歴 (SA)



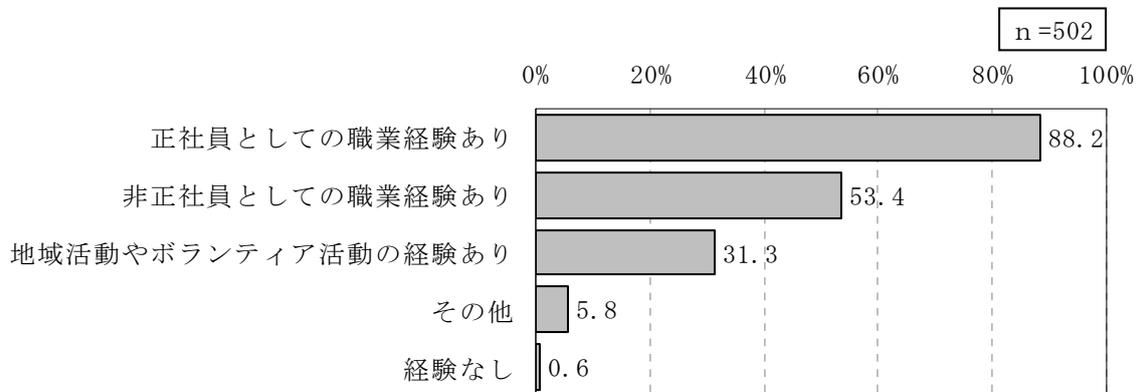
⑤ 再チャレンジ前の職業・社会活動経験などの有無

再チャレンジ支援事業に参加する前の職業・社会活動経験等の有無については、「正社員としての職業経験あり」が最も多く、9割近くとなっている。

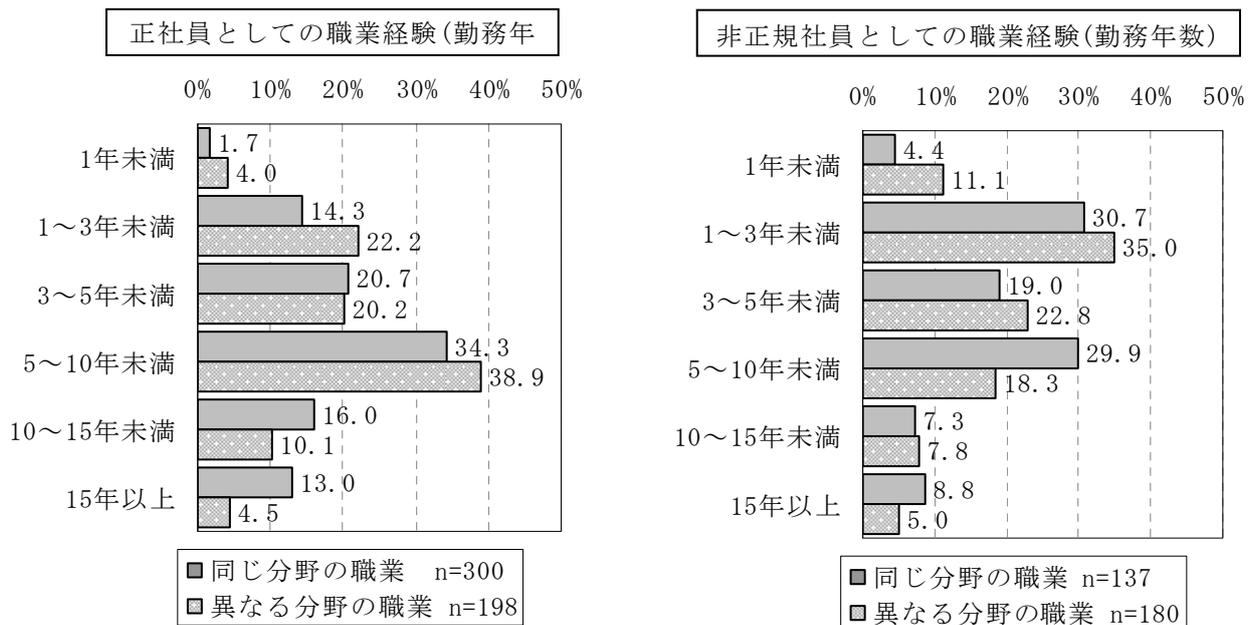
正社員としての同分野の経験年数は、「5年～10年未満」が最も多く、次いで「3年～5年未満」、「10年～15年未満」の順が続いている。異なる分野の経験年数は、「5年～10年未満」が最も多く、次いで「1年～3年未満」、「3年～5年未満」の順が続いている。

非正規社員としての同分野の経験年数は、「1年～3年未満」が最も多く、次いで「5年～10年未満」、「3年～5年未満」の順が続いている。異分野経験年数は、「1年～3年未満」が最も多く、次いで「3年～5年未満」、「5年～10年未満」の順が続いている。

図表 2-1-5 再チャレンジ前の職業・社会活動経験（SA）



図表 2-1-6 職業経験勤務年数（SA）



2.1.2 再チャレンジの理由

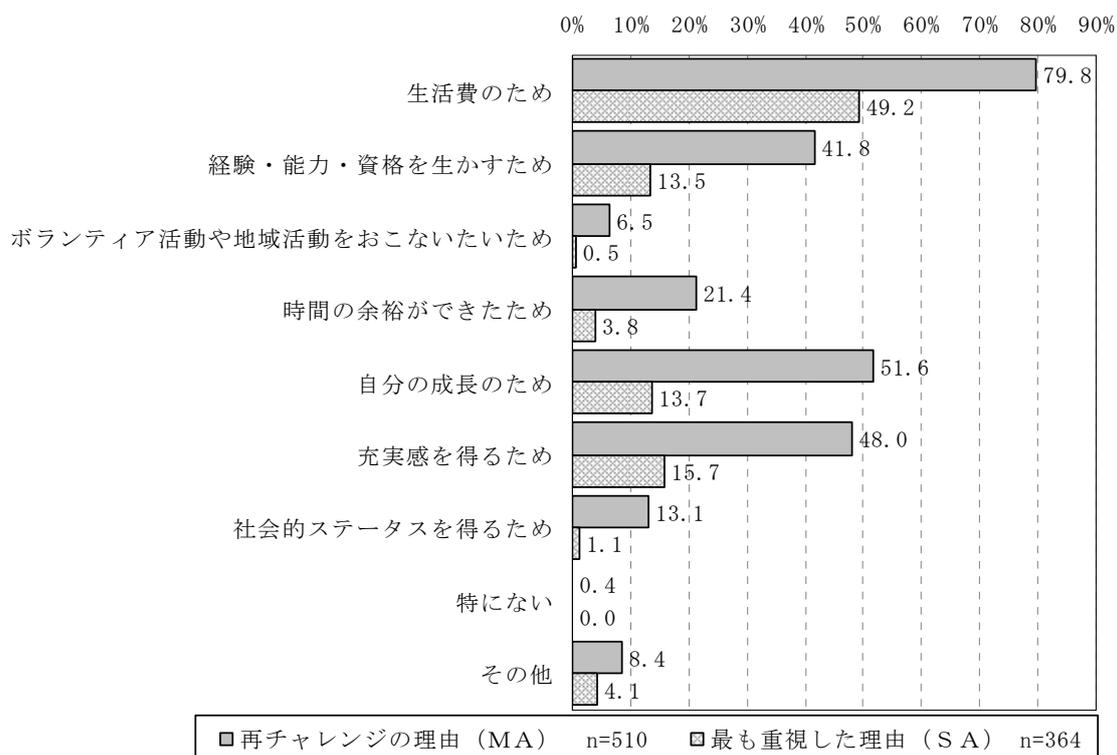
概要

- ① 再チャレンジの理由：「生活費のため」が最も多く、約8割を占める。
- ② 末子年齢別の理由：末子年齢が上がるにつれて「時間の余裕ができたため」等の比率が高い。

① 再チャレンジの理由

再チャレンジしたいと思った理由については、「生活費のため」が最も多く、次いで「自分の成長のため」、「充実感を得るため」、「経験・能力・資格を生かすため」の順に続いている。最も重視した再チャレンジの理由についても、「生活費のため」が約5割となっている。

図表 2-1-7 再チャレンジの理由 (MA、SA)

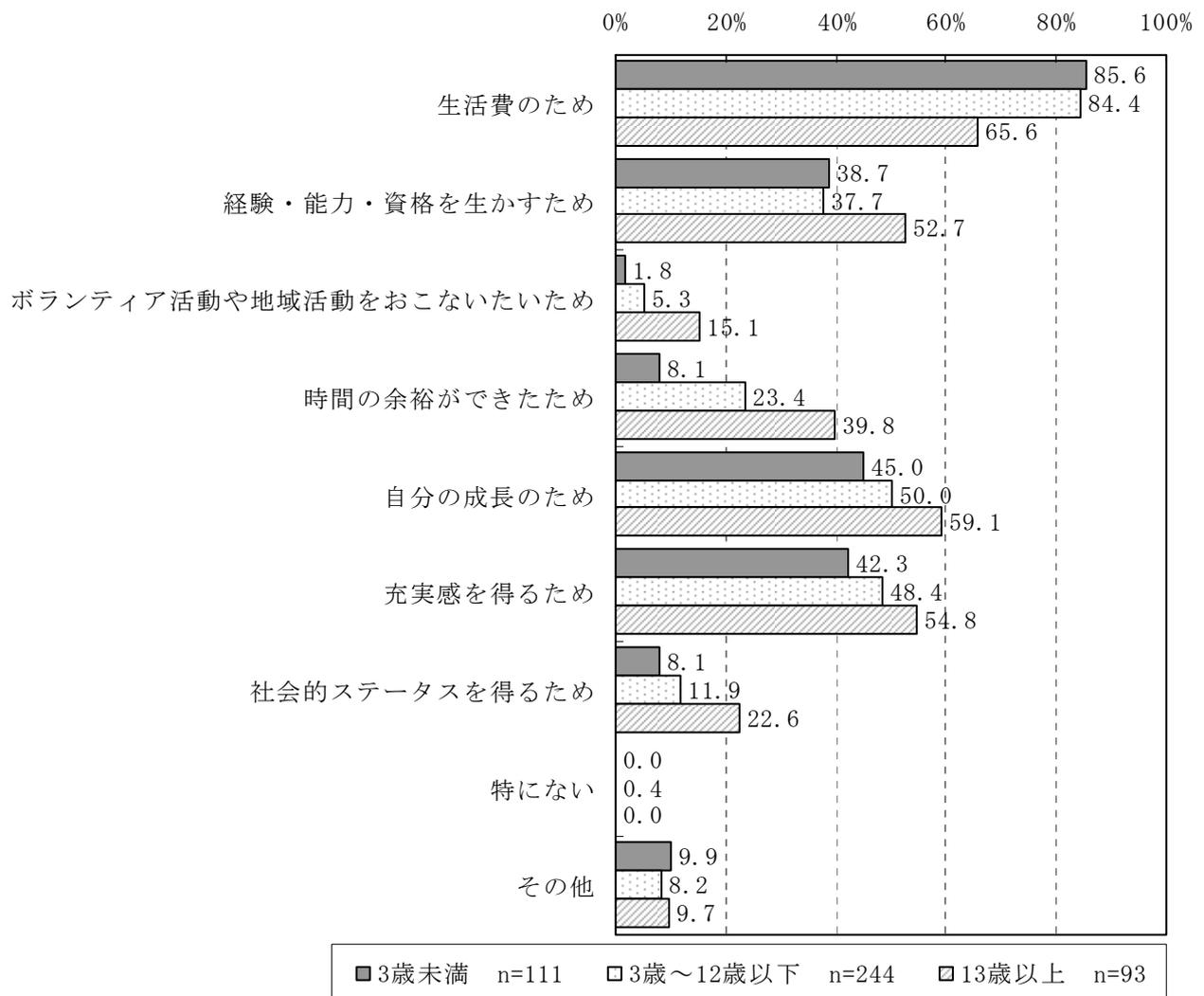


② 末子年齢別再チャレンジの理由

末子年齢別の再チャレンジ理由では、全ての末子年齢で「生活費のため」が最も多くなっているが、末子年齢が上がるにつれて「生活費のため」の比率は低くなっている。

また、末子年齢が上がるにつれて「自分の成長のため」、「時間の余裕ができたため」、「充実感を得るため」等の比率が高くなっている。

図表 2-1-14 末子年齢別再チャレンジ理由 (MA)



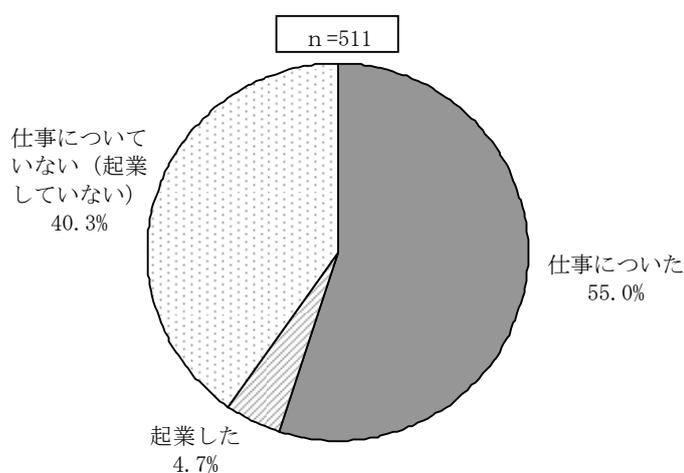
2.1.3 就業状況

1) 就業者

就業状況については、「仕事について」が最も多く、「起業した」とあわせた比率は約6割となる。また、「仕事についていない（起業していない）」の比率は、4割となっている。

なお、調査対象者は都道府県等における再チャレンジ講習等を受講した女性であることから、再チャレンジに対する意識が比較的高いにもかかわらず、就業の比率は6割にとどまっている。

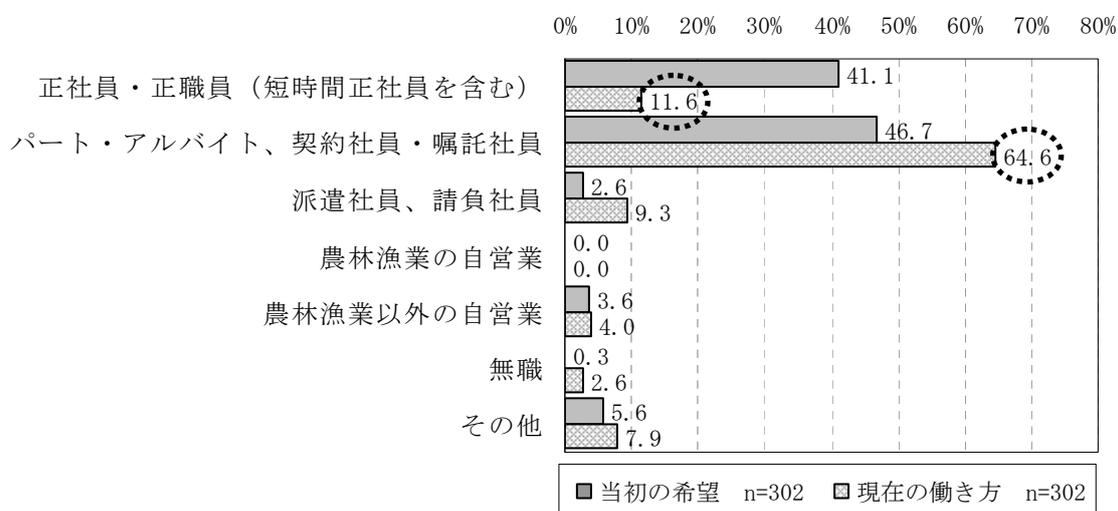
図表 2-1-15 就業の有無（S A）



希望する働き方は、「非正規社員（パート・アルバイト、契約社員・嘱託社員と派遣社員・請負社員）」が最も多く約5割となっており、次いで「正社員・正職員」も4割を超えている。

一方、現在の働き方では、「非正規社員」が最も多く、7割を超えている。「正社員・正職員」を希望しながら現在の働き方が「非正規社員」となっている比率が高い。

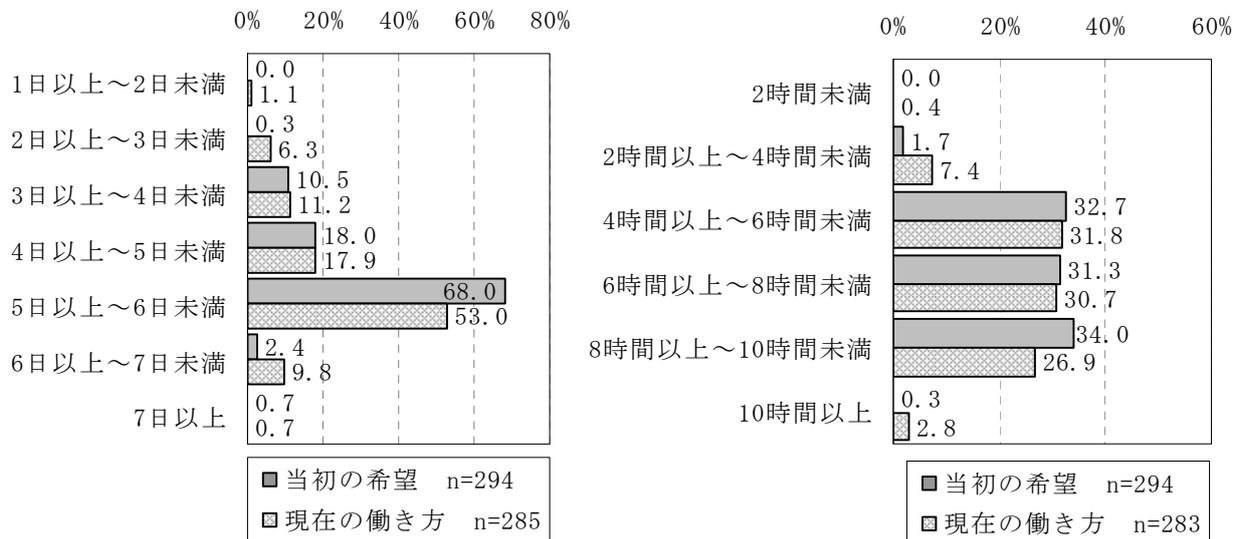
図表 2-1-16 当初の希望と現在の働き方（S A）



当初の希望及び現在の勤務日数ともに週5日以上～6日未満が多いが、1日の勤務時間では、4～6時間、6～8時間、8～10時間未満がそれぞれ3割程度となっている。

平均値：希望日数4.6日、現在4.5日；希望勤務時間6.3時間、現在6.2時間。

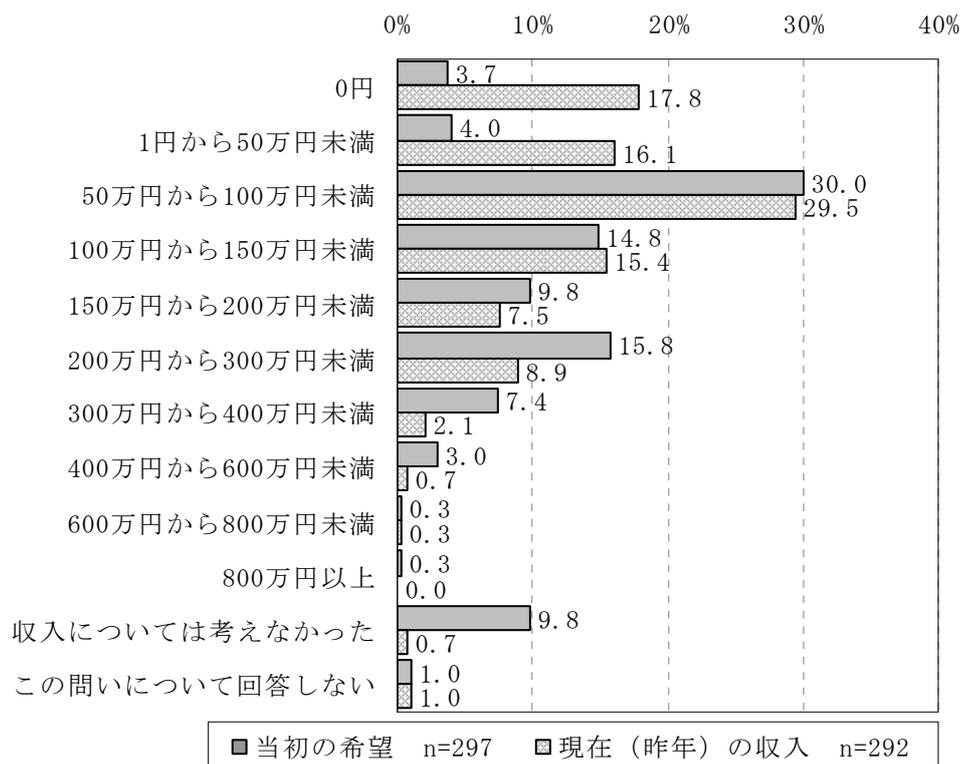
図表 2-1-17 勤務日数と時間（SA）



当初の希望年収は、「50万円～100万円未満」の比率が3割で最も多く、他の階層に比較して約2倍の比率となっている。現在(昨年)の年収は、希望年収に比して低い傾向が見られる。

平均値：希望144万円、現在94万円。

図表 2-1-18 当初の希望と現在の年収（SA）



(1) 役立った支援・協力等

概要

①役立った支援機関・組織：「ハローワーク」。

また、「保育所」は、役立った支援機関の回答比率よりも充実を要望する比率が高くなっている。

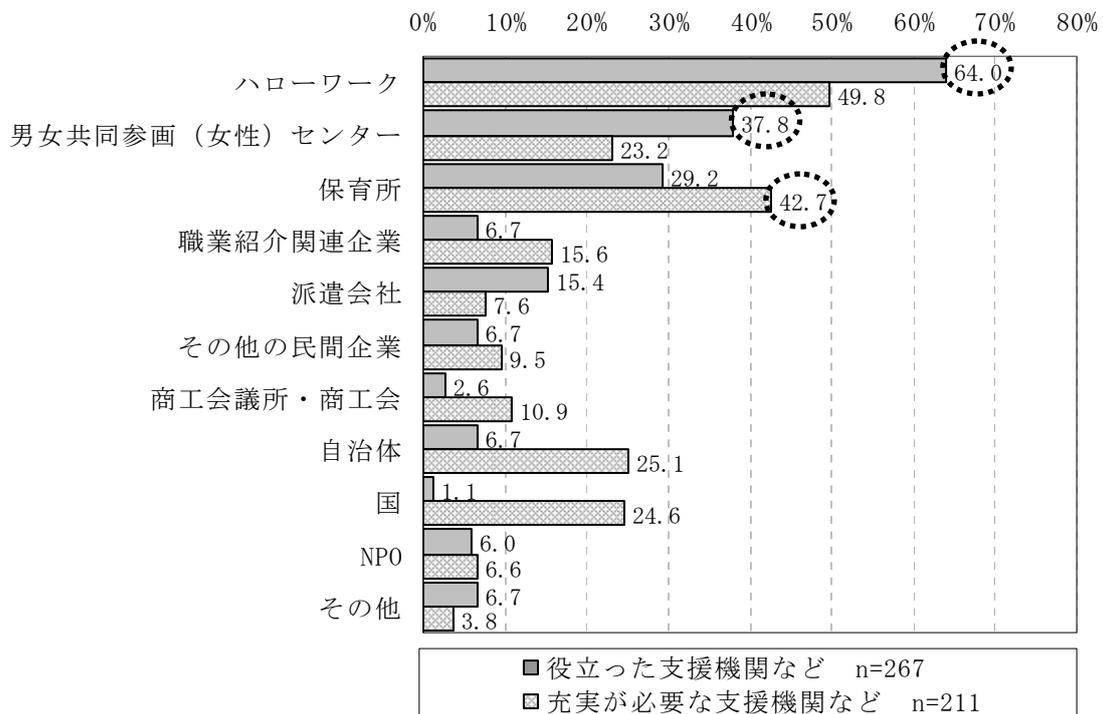
②役立った支援・サービス：「講座・セミナー」。

③役立った支援者及び協力が重要と思う支援者：「配偶者」。

① 支援機関・組織

再チャレンジに役立った支援機関・組織は、「ハローワーク」の比率が最も多く、次いで「男女共同参画センター」「保育所」の順が続いている。また、充実が必要な機関・組織は、「ハローワーク」の比率が最も多く、次いで「保育所」、「自治体」、「国」、「男女共同参画センター」の順が続いている。なお、「保育所」は、役立った支援機関の回答比率よりも充実を要望する比率が高くなっている。

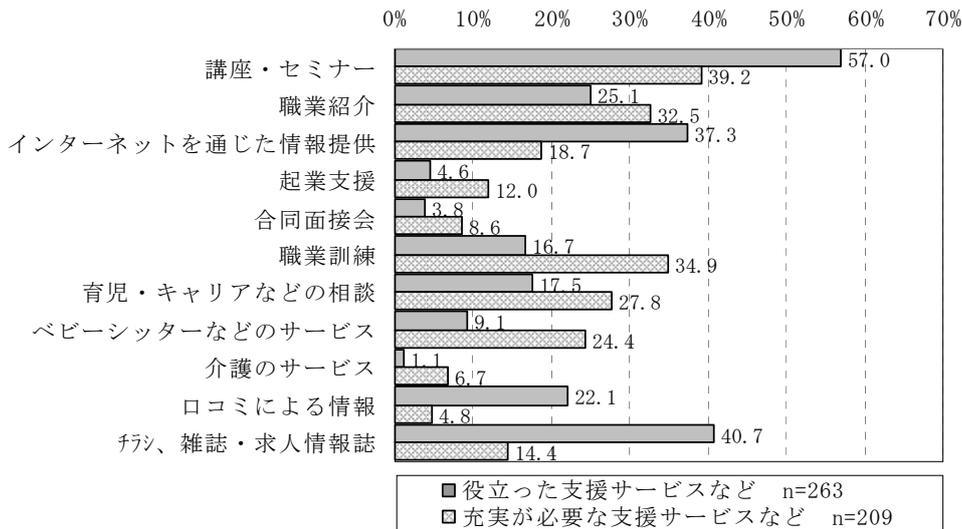
図表 2-1-19 役立った・充実が必要な支援機関・組織 (MA)



② 支援・サービス

役立った支援・サービスは、「講座・セミナー」の比率が最も多く、次いで「チラシ、雑誌・求人情報誌」、「インターネットを通じた情報提供」の順に続いている。また、充実が必要な支援・サービスは、「講座・セミナー」の比率が最も多く、次いで「職業訓練」、「職業紹介」が続いている。

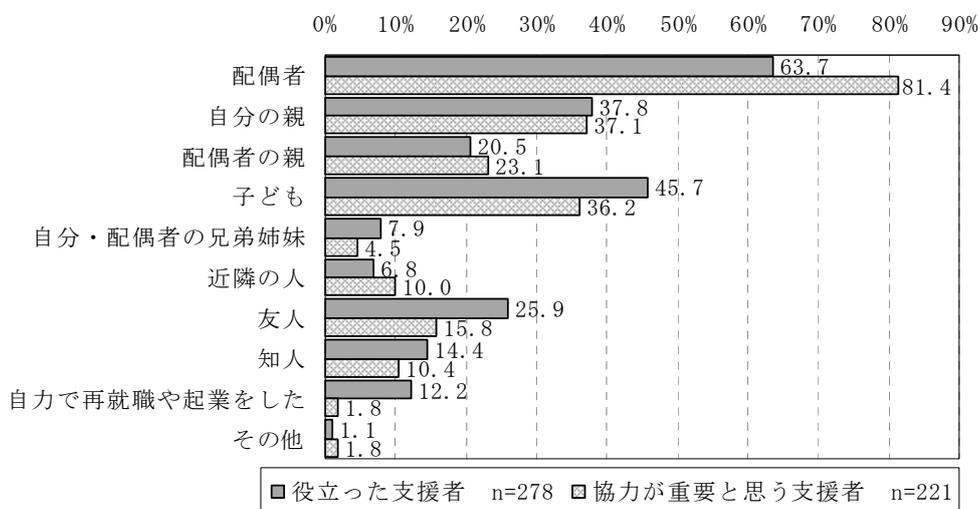
図表 2-1-20 役立った・充実必要の支援・サービス (MA)



③ 支援者

役立った支援者及び協力が重要と思う支援者は、「配偶者」が最も多く、次いで「子ども」「自分の親」が続いている。

図表 2-1-21 役立った支援者及び協力が重要と思う支援者 (MA)



(2) 役立った経験・能力・資格

概要

- ① 役立った経験・能力、資格：「職業経験」。
- ② 働き方別役立った経験・能力・資格：総じて職業経験が多いが、非正規社員は「特にない」の比率が高い。
- ③ 役立った職業経験の内容：「金融関係事務、医療事務等の事務」、「プログラマー」、「受付」、「ホテルのホールスタッフ」等。
- ④ 役立った資格等の内容：「パソコン検定」、「正看護師」、「小中学校教員免許」、「簿記」「介護福祉士」「管理栄養士」等。

① 役立った経験・能力、資格

役立った経験・能力、資格は、「職業経験」の比率が最も多く6割を超えている。次いで「資格」「その他の能力」の順が続いている。「地域活動やボランティア経験」も2割程度となっている。

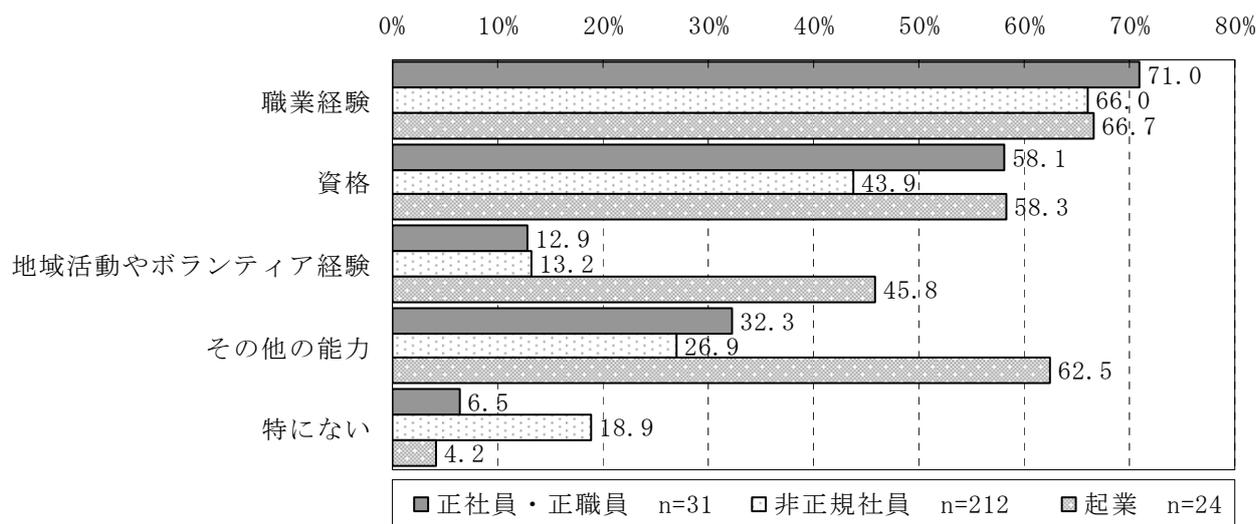
図表 2-1-22 役立った経験・能力・資格 (MA)



② 働き方別役立つ経験・能力・資格

働き方別に役立つ経験・能力・資格は、正社員・正職員、非正規社員、起業ともに「職業経験」の比率が最も多く、次いで「資格」、「その他の能力」の順に続いている。

図表 2-1-23 働き方別に役立つ経験・能力・資格 (MA)



③ 役立つ職業経験の内容

役立つ職業経験のうち、具体的な内容は、「金融関係事務、医療事務等の事務」、「プログラマー」、「受付」、「ホテルのホールスタッフ」等が挙げられる。

図表 2-1-24 役立つ職業経験の内容 (調査票：具体的な内容)

内容	回答数(件)
事務(金融関係、医療事務等の事務等)	30
パソコン、システムエンジニア(プログラマー等)	23
営業、接客(受付、ホテルのホールスタッフ等)	16
医療機関勤務	8
教師、保育	6
長期間の経験、他	19

④ 役立った資格・地域活動・その他の能力

・ 役立った資格

役立った資格のうち、具体的な内容は、「パソコン一級」、「正看護師」、「小中学校教員免許」、「簿記、産業カウンセラー」「介護福祉士」「管理栄養士」等である。

図表 2-1-25 役立った資格の内容（調査票：具体的な内容）

	回答数(件)
パソコン検定(パソコン一級、ワープロ検定等)	23
医療関係資格(正看護師等)	13
教育関係資格(小中学校教員免許、高校専修免許、幼稚園2種等)	11
商業関係資格(簿記、産業カウンセラー、秘書検定等)	11
介護関係資格(介護福祉士、介護福祉専門員等)	6
調理関係資格(管理栄養士等)	3
その他(カラーコーディネーター、二級建築士等)	7

・ 役立った地域活動やボランティア経験

役立った地域活動やボランティア経験のうち、具体的な内容は、「PTA役員」、「町内会役員」等である。

図表 2-1-26 役立った地域活動やボランティア経験の内容（調査票：具体的な内容）

	回答数(件)
学校関連ボランティア(PTA役員、子ども会等)	8
地域社会関連ボランティア(町内会役員、国際交流ボランティア等)	6

(3) 苦勞したこと

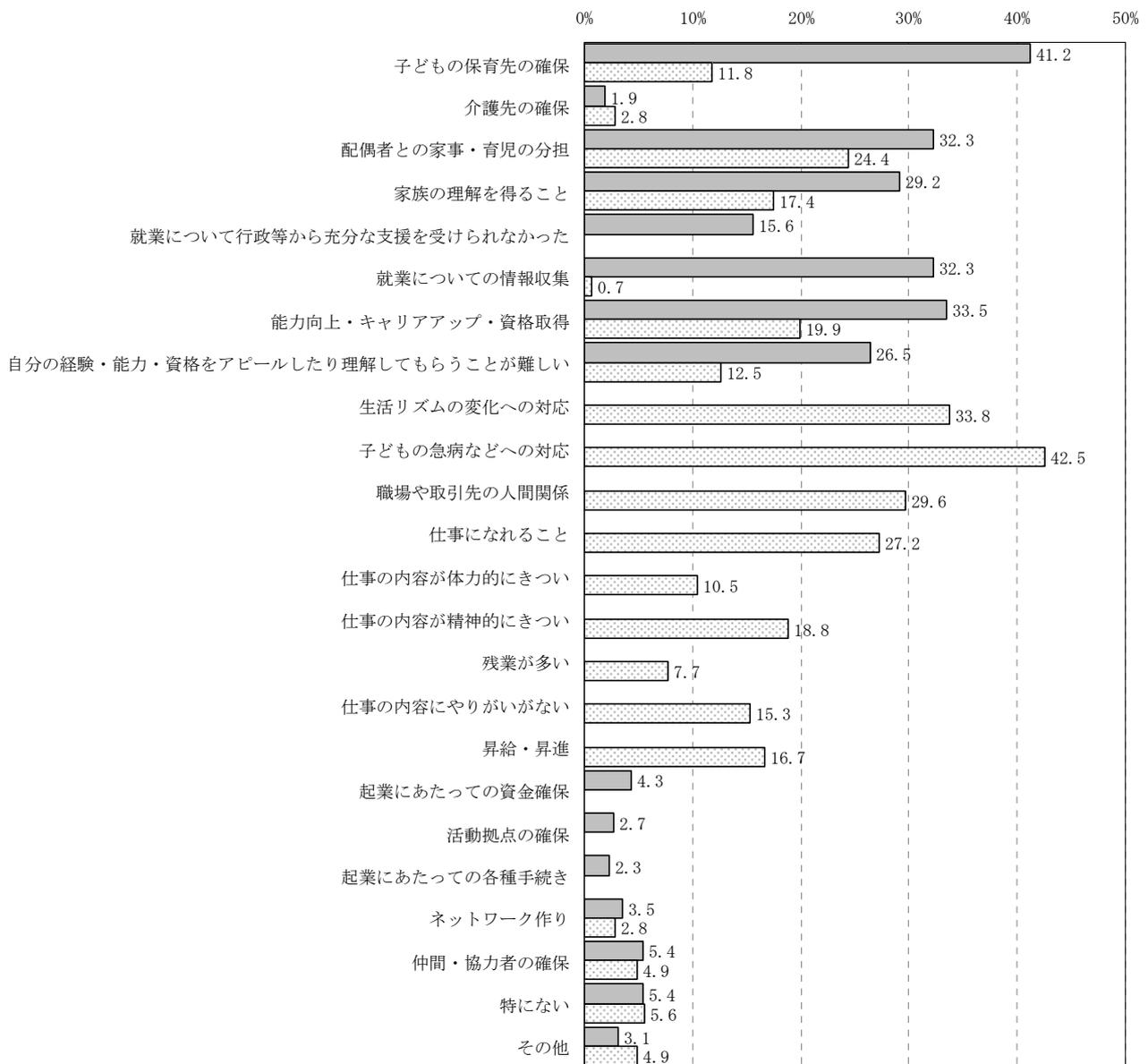
概要

① 再チャレンジ前と後に苦勞したこと：再チャレンジ前は「子どもの保育先の確保」、再チャレンジ後は、「子どもの急病などへの対応」。

① 再チャレンジ前と後で苦勞したこと

再チャレンジ前に苦勞したことは、「子どもの保育先の確保」が最も多く、次いで「能力向上・キャリアアップ・資格取得」、「配偶者との家事・育児の分担」、「就業についての情報収集」の順に続いている。再チャレンジ後に苦勞したことは、「子どもの急病などへの対応」が最も多く、次いで「生活リズムの変化への対応」、「職場や取引先の人間関係」の順に続いている。

図表 2-1-28 再チャレンジ前と後で苦勞したこと (MA)



■ 再就職・起業前苦勞したこと n=257 □ 再就職・起業後苦勞したこと n=287

(4) 満足度

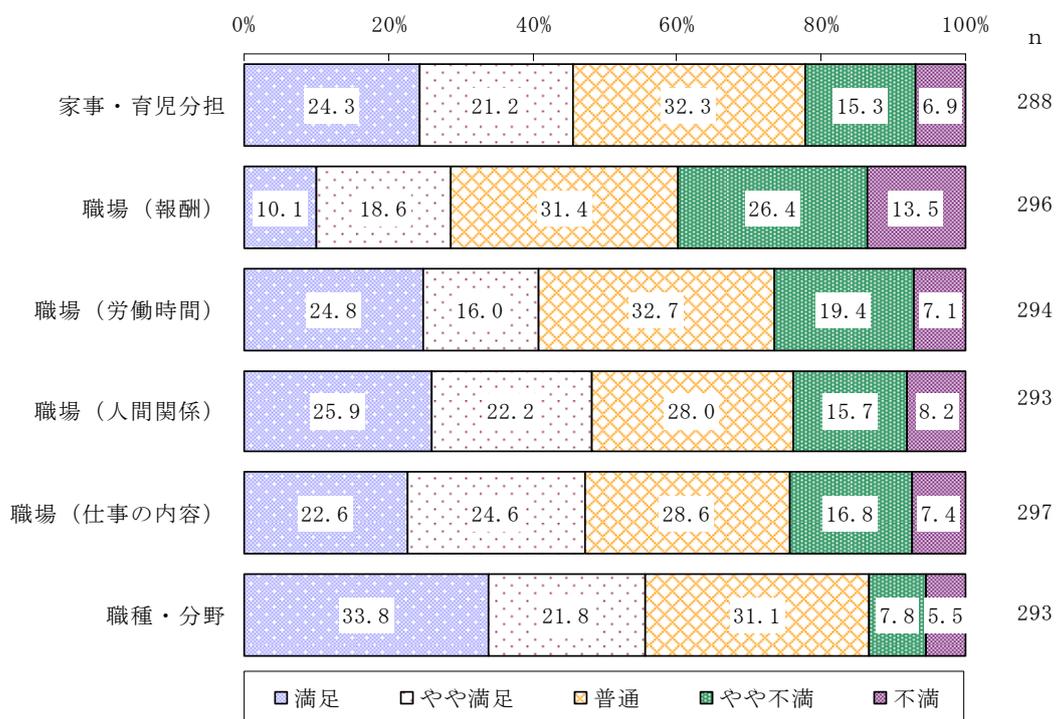
概要

- ① 満足度：総じて満足（満足＋やや満足）の比率が高いが、職場（報酬）については不満（不満＋やや不満）の比率が4割となっている。
- ② 働き方別の満足度：正社員・正職員と非正規社員では比較的近似した傾向が見られるが、正社員・正職員の「職場(労働時間)」の満足度は非正規職員を下回っている。

① 満足度

「家事・育児分担」「職場(人間関係)」「職場(仕事の内容)」「職種・分野」について、満足（満足＋やや満足）の比率は約5割程度であるが、報酬については、不満（不満＋やや不満）の比率が4割となっている。

図表 2-1-33 満足度（SA）

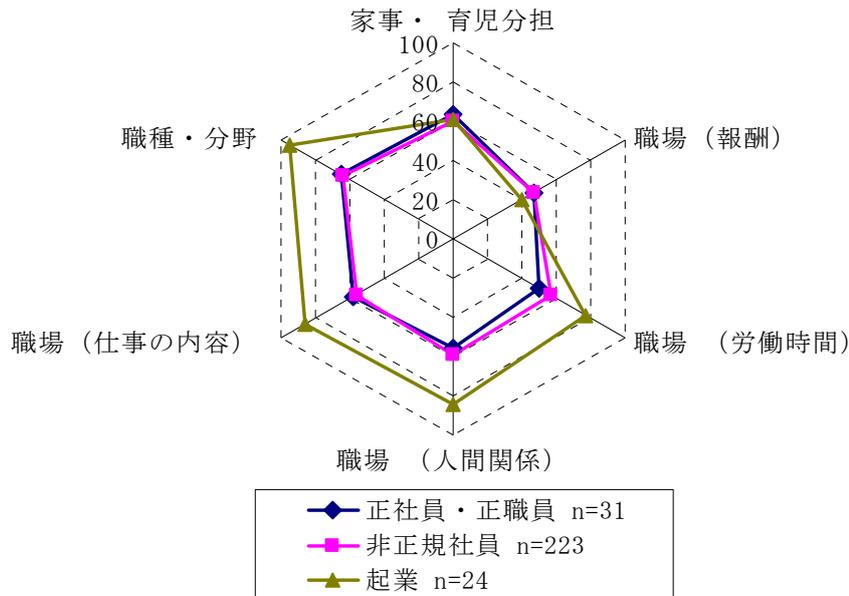


② 働き方別満足度

働き方別の満足度は、正社員・正職員と非正規社員では比較的近似した傾向が見られるが、正社員・正職員の「職場(労働時間)」の満足度は非正規職員を下回っている。

また、起業は、「職場(人間関係)」、「職場(仕事内容)」、「職種・分野」等の満足度が高い。

図表 2-1-34 就業別満足度 (SA)

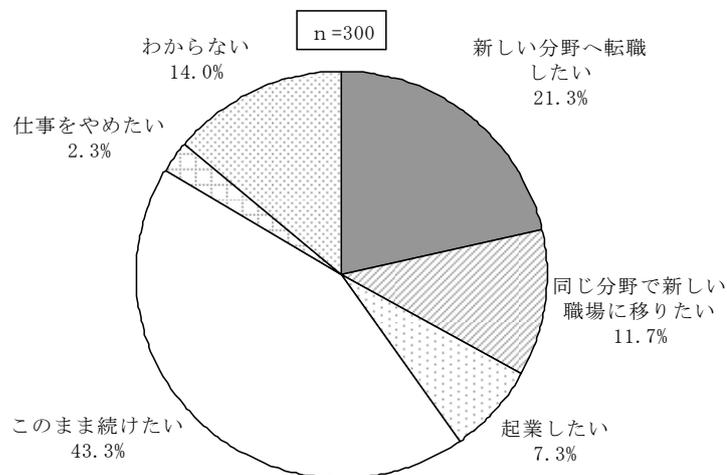


(5) 今後の就業希望

就業者の今後の就業希望は、「このまま続けたい」の割合が4割を超えている。

また、新たな再チャレンジを希望している比率は、「新しい分野へ転職」、「同じ分野で新しい職場に移りたい」、「起業したい」をあわせると約4割となっている。

図表 2-1-35 就業者の今後の就業希望 (SA)

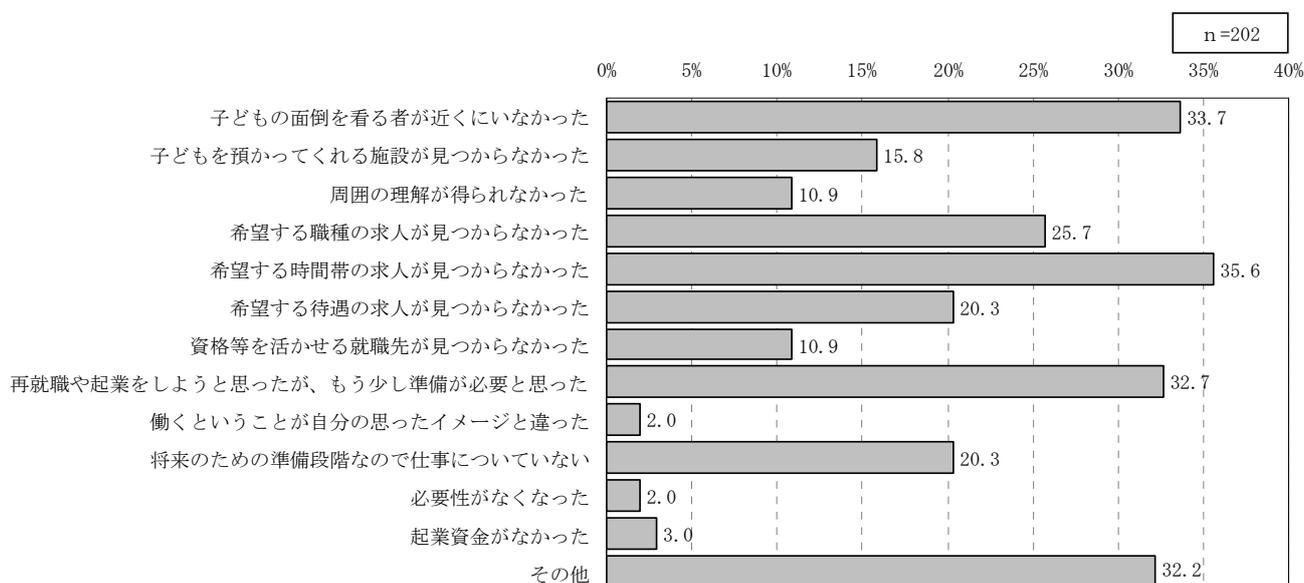


2) 非就業者

(1) 非就業理由

非就業理由は、「希望する時間帯の求人が見つからなかった」が最も多く、次いで「子どもの面倒を見る者が近くにいなかった」、「再就職や起業をしようと思ったが、もう少し準備が必要と思った」の順が続いている。その他の具体的な非就業理由は、「妊娠」、「病気(自分、家族)」、「就職試験に受からない(年齢制限等)」等が挙げられる。

図表 2-1-36 非就業理由 (MA)



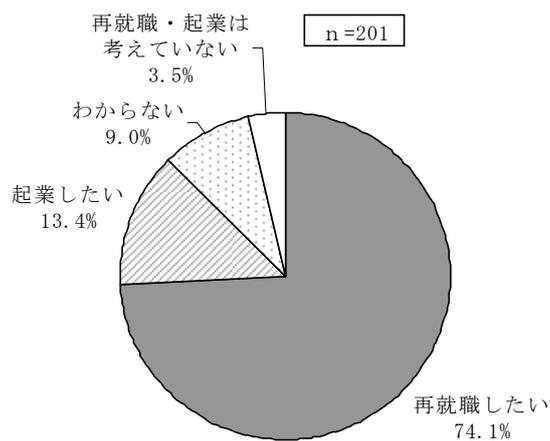
図表 2-1-37 具体的な非就業理由 (調査票：具体的な内容)

	回答数(件)		回答数(件)
妊娠	12	介護	2
病気(自分、家族)	6	起業の人間関係	2
就職試験に受からない(年齢制限等)	6	自宅の近くで就業したい	1
収入が安く保育料が出せない	4	その他	6
不況	4		

(2) 今後の就業希望

非就業者の今後の就業希望は、「再就職したい」が最も多く、「起業したい」とあわせて9割近くとなっている。

図表 2-1-40 非就業者の今後の就業希望（S A）



2.2 テーマ別分析結果

2.2.1 働き方別の状況（希望・現状・満足度・今後）

1) 当初の希望と現在の就業状況

当初の働き方で正社員・正職員を希望し、希望通りの職種に就いた「正社員・正職員」の比率は、3割弱にとどまっている。当初の働き方で正社員・正職員を希望していたが希望と異なる「非正規社員」に就いた比率は、約7割となっている。

当初の働き方で非正規社員を希望し、希望通りの職種に就いた「非正規社員」の比率は、約9割となっている。

図表 2-2-1 当初の希望と現在の就業状況

上段: n 下段: %

		合計	現在の就業			
			正社員・正職員	非正規社員	自営業	その他
全体		302 100.0	35 11.6	223 73.9	12 4.0	32 10.5
当初の希望の就業	正社員・正職員	124 100.0	33 26.6	84 67.7	2 1.6	5 4.0
	非正規社員	147 100.0	2 1.4	131 89.0	1 0.7	13 8.9
	自営業	11 100.0	0 0.0	2 18.2	9 81.8	0 0.0
	その他	18 100.0	0 0.0	5 29.4	0 0.0	13 70.6

働き方別の正社員、非正規社員、起業並びに母子世帯の育児状況（末子年齢等）については、正社員・正職員は他と比較して子どもなしの比率が高く、非正規社員は12歳以下の子どもがいる比率が8割を超える。

図表 2-2-2 働き方別の育児状況（末子年齢階層別）

(% (人))

	3歳未満	3歳～12歳以下	13歳以上	子どもなし
正社員・正職員	23.1 (6)	42.3 (11)	23.1 (6)	11.5 (3)
非正規社員	22.4 (44)	58.7 (115)	17.3 (34)	1.5 (3)
起業	18.2 (4)	40.9 (9)	36.4 (8)	4.5 (1)

2) 正社員・正規職員

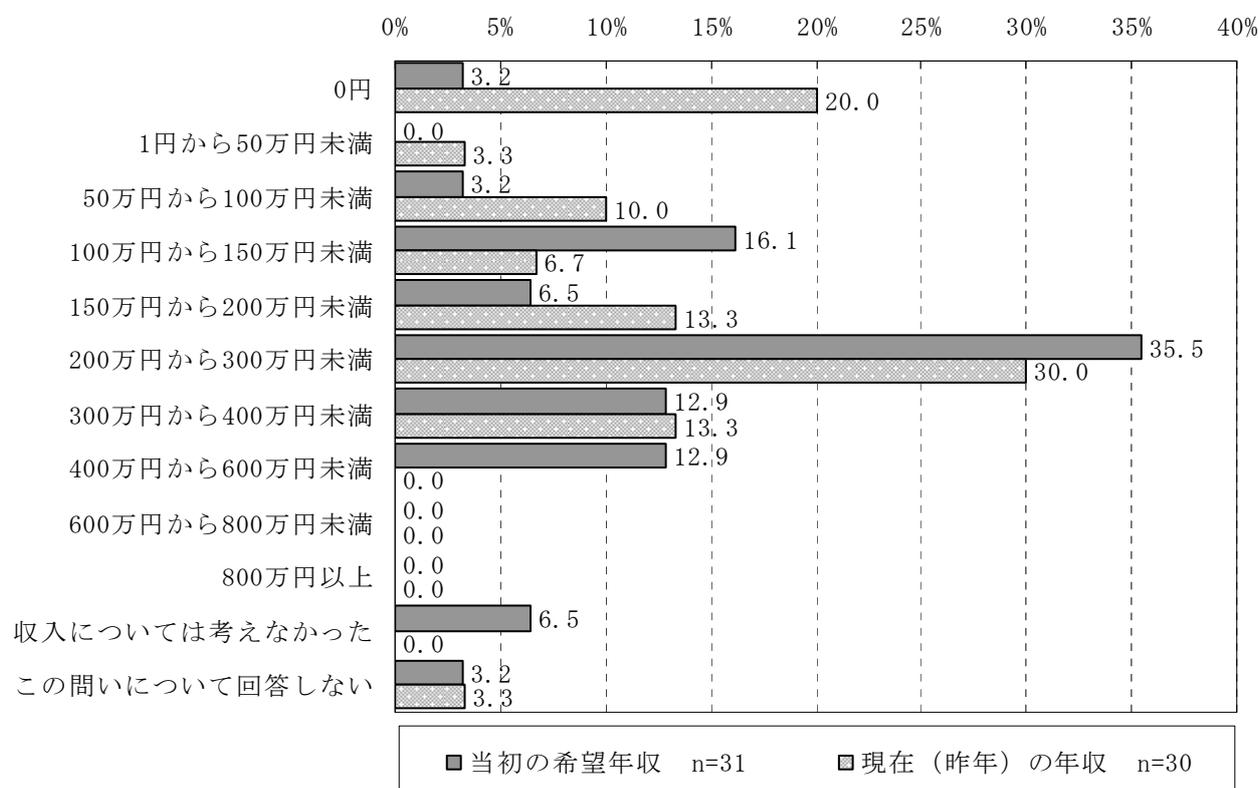
(1) 年収、勤務日数・時間

(i) 当初の希望と現在の年収状況

正社員・正職員の希望年収は、「200万円～300万円未満」が最も多く、現在の年収も同様に「200万円～300万円未満」が最も多い。また、現在の年収の「0円」が「200万円～300万円未満」に次いで多い。なお、年収「0円」は、昨年(平成19年)の年収を調査していることから、平成19年時点で就業していない者も含まれた為と思われる。

平均値：希望 232 万円、現在 162 万円。

図表 2-2-5 当初の希望と現在の年収状況(正社員・正職員) (SA)

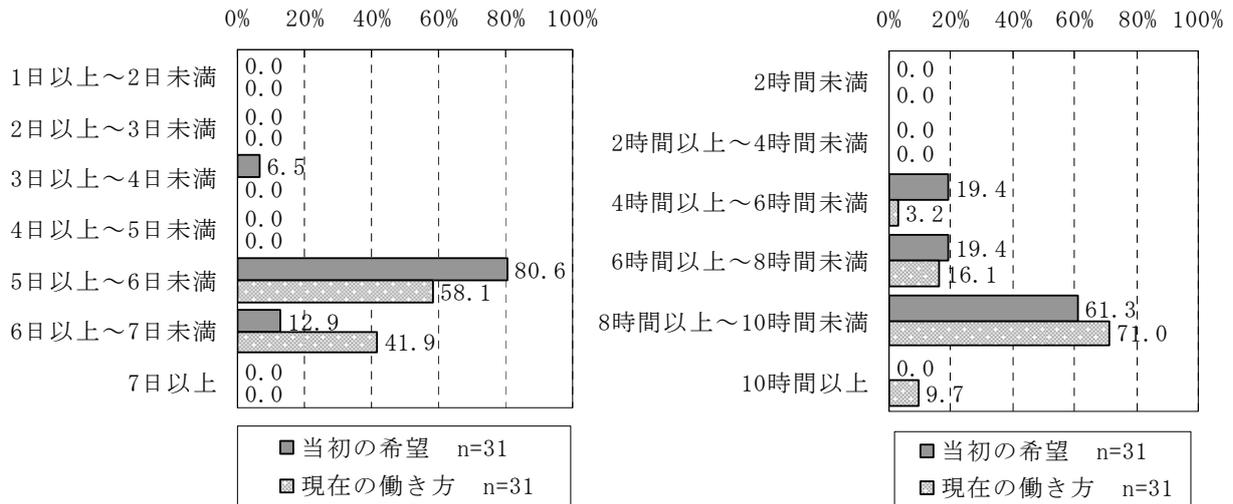


(ii) 当初の希望と現在の勤務日数・時間

当初の希望及び現在の勤務日数ともに週6日未満が多く、1日の勤務時間では、10時間未満の比率が高くなっている。

平均値：希望日数5日、現在5.4日；希望勤務時間7.1h、現在の勤務時間8.1h。

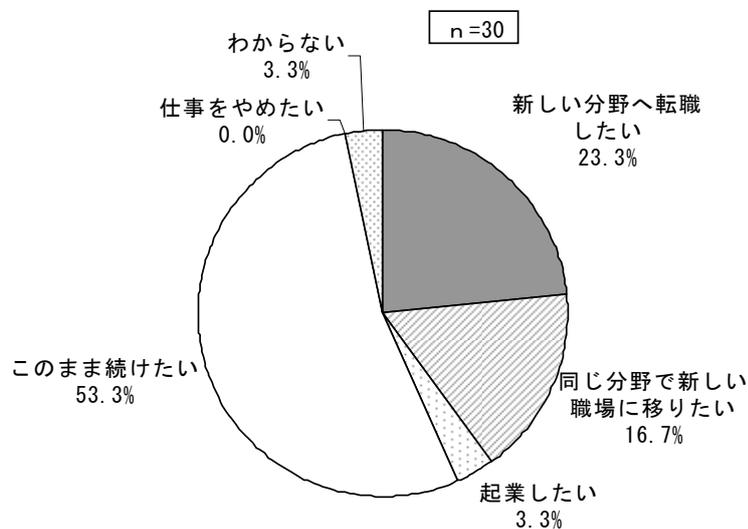
図表 2-2-7 勤務日数と時間(正社員・正職員) (SA)



(2) 今後の再チャレンジ希望

正社員・正職員の今後の再チャレンジ希望は、現在の職場で「このまま続けたい」が最も多く、5割を超えている。一方、「新しい分野へ転職したい」、「同じ分野で新しい職場に移りたい」などをあわせると全体の4割を占め、今後の再チャレンジに関する希望が多いことが伺える。

図表 2-2-10 今後の再チャレンジ希望(正社員・正職員) (SA)



3) 非正規社員

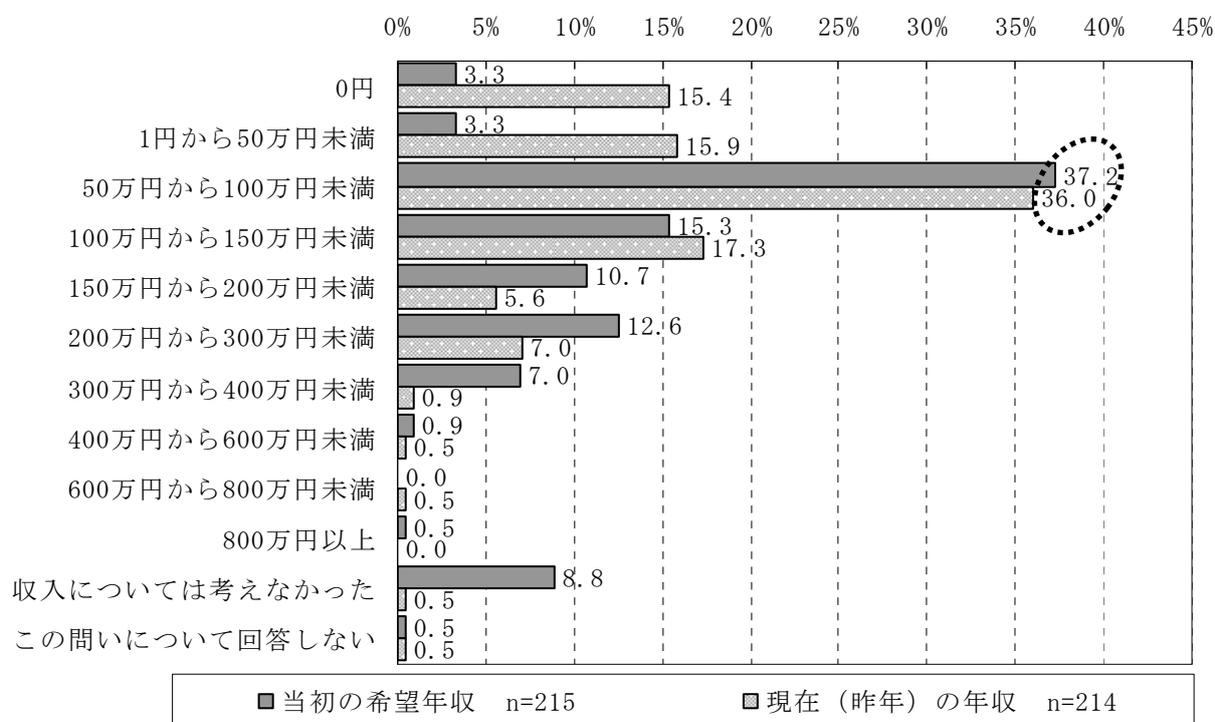
(1) 年収、勤務日数・時間

(i) 当初の希望と現在の年収状況

非正規社員の希望年収は、「50万円～100万円未満」が最も多く、現在の年収も同様に「50万円～100万円未満」が最も多い。また、現在の年収では、希望年収と比べて「0円」や「50万円未満」の比率が高い。なお、年収「0円」は、昨年(平成19年)の年収を調査していることから、平成19年時点で就業していない者も含まれた為と思われる。

平均値：希望 131 万円、現在 89 万円。

図表 2-2-13 当初の希望と現在の年収状況(非正規社員) (S A)

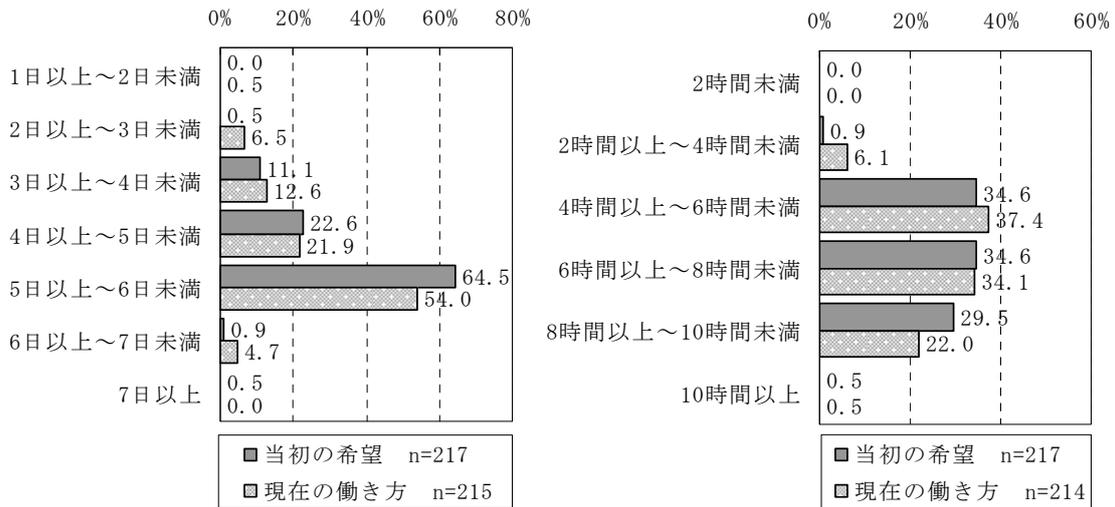


(ii) 当初の希望と現在の勤務日数・時間

当初の希望及び現在の勤務日数ともに週6日未満が多いが、1日の勤務時間では、6時間、8時間が3割以上、10時間未満が2割以上となっている。

平均値：希望日数4.6日、現在4.4日；希望勤務時間6.3h、現在6.0h。

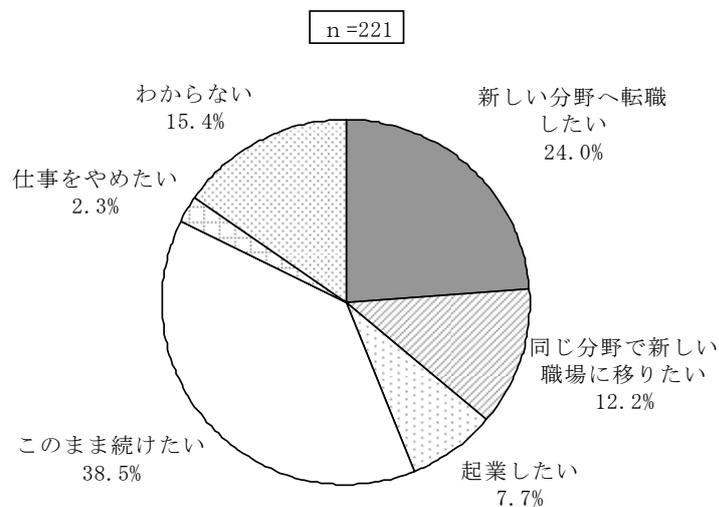
図表 2-2-15 勤務日数と時間(非正規社員) (SA)



(2) 今後の再チャレンジ希望

非正規社員の今後の再チャレンジ希望は、現在の職場で「このまま続けたい」が約4割となっている。また、「新しい分野へ転職したい」、「同じ分野へ転職したい」と「起業したい」をあわせた転職希望は、全体の4割を占め、今後の再チャレンジに関する希望が多いことが伺える。

図表 2-2-18 今後の再チャレンジ希望(非正規社員) (SA)



4) 起業者

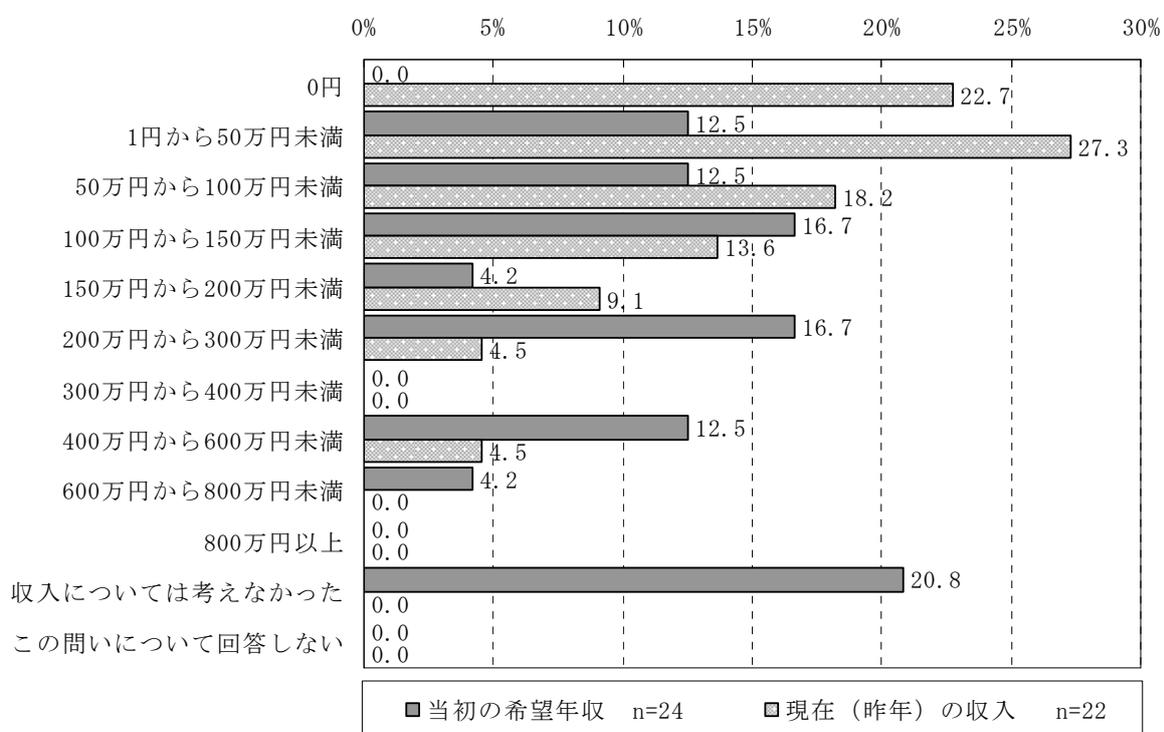
(1) 年収、勤務日数・時間

(i) 当初の希望と現在の年収状況

起業者の希望年収は、「収入については考えなかった」が最も多く、次いで「100万円～150万円未満」及び「200万円～300万円未満」となっている。現在の年収は、「50万円未満」が最も多く、次いで「0円」、「50万円～100万円未満」の順が続いている。なお、年収「0円」は、昨年(平成19年)の年収を調査していることから、平成19年時点で就業していない者も含まれた為と思われる。

平均値：希望 174 万円、現在 88 万円。

図表 2-2-21 当初の希望と現在の年収状況(起業者) (S A)

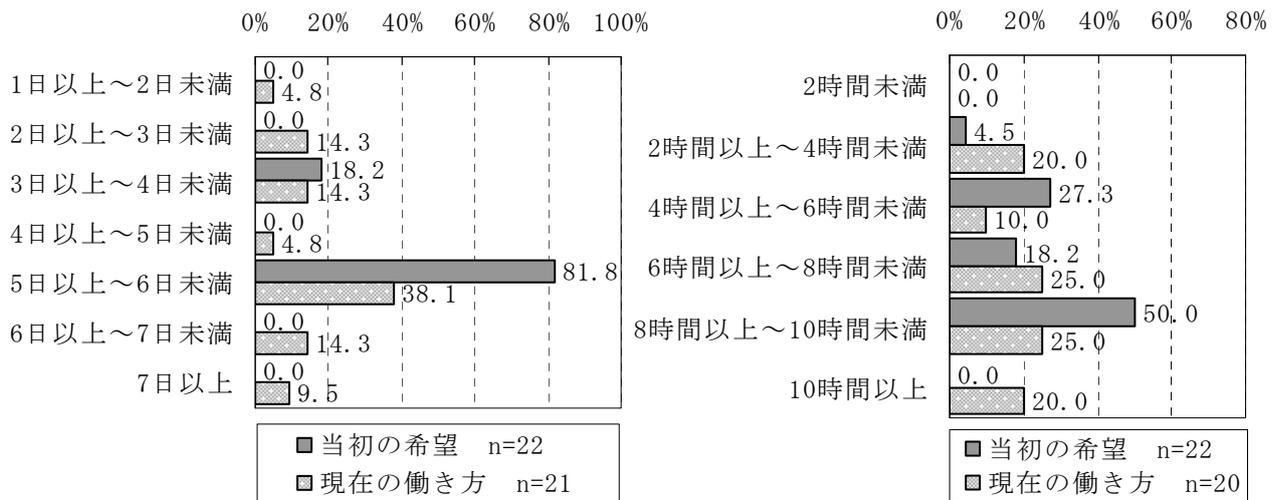


(ii) 当初の希望と現在の勤務日数・時間

当初の希望及び現在の勤務日数ともに週6日未満が多い。現在の勤務日数は2日未満から7日以上まで分散している。1日の希望勤務時間は、10時間未満の比率が高いが、現在の勤務時間は4時間未満から10時間以上まで分散している。

平均値：希望日数4.6日、現在4.4日；希望勤務時間6.6h、現在6.8h。

図表 2-2-23 勤務日数と時間(非正規社員) (SA)



(2) 今後の再チャレンジ希望

起業者の今後の再チャレンジ希望は、「このまま続けたい」等が9割を超えており、他の働き方と比べて継続就業を希望する比率が高い。

図表 2-2-26 今後の再チャレンジ希望(起業者) (SA)

